

アメリカ・医療の監視制度と 医師の動き

アメリカの医師は、長い間、「医療社会化」への動き、あるいは連邦政府による医師の業務への干渉に、抵抗してきた。現在、医師の多くは、1972年に採択された新しい法律（医師が患者に与える医療を監視する審査委員会のネットワークを規定する）に造反しようとしている。

この法律は、昨年12月はじめにカリフォルニアのアナハイムで開かれたアメリカ医師会（AMA）の大会ではげしく攻撃された。ある発言者は「ワシントンからの鎖の響き」と断じ、大会の閉会にあたってAMAの指導者はこれまで以上にこの審査委員会に対する敵対的姿勢の強化策をとらざるをえなくさせた。大会では、過去に行ったように、本法に対する全面的反対運動の要求はしなかった。しかし、「アメリカ国民、わが国の患者の最善の利益は本法の廃止によってその目的を達せられるものである」ことをAMAの見解とすることとした。AMAは本法の“建設的”改正を支持しつづけるべきである、とする勧告をこれに追加している。

本立法が昨年通過した際には、審査委員会の設置は、たいした混乱をおこさなかった。しかし、多く医療専門家は、医師がその患者に対する医療の方針についての厳重な規制を定める、アメリカ合衆国で採択された医療関係立法のなかで最もラジカルなものの一つとみている。

本制度は、当分の間、メディケア（65歳以上の人びとのための）とメディケイド（医療費の負担能力を持たない人びとのための）の適用をうける人びとにのみ適用され、病院で医療をうける人びとにのみ適用されることになろう。しかし、本制度はすべての医療がなんらかの監督をうけるシステムへの第一段階と広くみら

れている。

この審査委員会は、プロフェッショナル・スタンダード・レビュー・オルガニゼーション PRSO と呼ばれ、約150の各地域に設置されることになっている。

その構成については、正確には、まだ明らかにされていないが、地方のメディカル・ソサエティが1月1日にはじまる2か年の期間に設置を申し出ることとされている。申し出がない場合にのみ、連邦政府が他の団体にその設置を任命することとなろう。

審査委員会の任務は、医師がその患者に正しい医療を行なっているかを監視することである。もし医師が正しい医療を行っていないとみなされる場合、PRSOは制裁の勧告をなす。これら勧告には、当該医師のメディケアおよびメディケイド制度による医療の禁止、あるいは不必要な治療に対する支払い要求がある。

これらはすべて、アメリカの医師にとって革命的なことであり、また多くの他の諸国においても然りである。おそらく、その最も注目すべき側面は、抗議の声が多く出なかったという点であり、かつてのメディケア反対運動によって世の反撥をうけたAMAが本制度の細部の作業において保健・教育・福祉省に協力的であったという点である。

今後、医師自身が新しい事態にどう反応するか決定に多くがかかっている。AMA大会後、連邦政府は医師側がどうするかを見守りつつある。

The Times, December 17, 1973

（田中 寿 国立国会図書館）